

2016 綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト）

平成28年度 事業報告書



綾の照葉樹林プロジェクト連携会議

九州森林管理局・宮崎県・綾町

（公財）日本自然保護協会・（一社）てるはの森の会

平成 28 年度 事業報告書

目 次

I	第Ⅲ期短期行動計画	4
II	平成 28 年度 事業報告（※短期行動計画順に、実施した事業名・報告書記載者名を掲載）	
1	項目：協働の体制づくり ― 綾の照葉樹林プロジェクトの推進のための基盤整備	
1-1-①	綾プロ 10 周年の評価方法の検討（連携：てるはの森の会）	6
1-3-③	プロジェクト事務局運営事業（てるはの森の会）	7
2	項目：照葉樹林の保護 ― 保護林の計画的・順応的保全管理を実施	
2-2-③	ナラ枯れ予防対策後のモニタリング調査の実施（綾町）	8
2-3-①	横断的な保全管理計画を策定（連携：九州森林管理局）	9
2-3-①	横断的な保全管理計画を策定（宮崎県）	10
2-3-①	綾町森林整備計画の見直し（綾町）	11
3	項目：照葉樹林の復元 ― 照葉樹林への効果的・効率的な復元を推進	
3-2-①	人工林から照葉樹林への復元事業（九州森林管理局）	12
3-2-①	人工林から照葉樹林への復元事業（宮崎県）	13
3-2-①	人工林から照葉樹林への復元事業（綾町）	14
3-2-②	持続的林業経営エリアにおける森林整備（九州森林管理局）	15
3-2-③	復元見本林の検討（連携：てるはの森の会）	16
3-2-④	綾プロエリア等における鳥獣捕獲事業（九州森林管理局）	17
3-3-①	照葉樹林復元ボランティア作業の実施（九州森林管理局）	18
4	項目：照葉樹林の調査研究 ― 照葉樹林を適切に復元するための 調査研究を推進し、復元に反映	
4-1-①	調査研究ワーキング設置の検討（連携：てるはの森の会）	19
4-2-③	照葉樹林復元の動態モニタリング及び 各種試験研究成果の整理等についての業務（九州森林管理局）	20

5 項目：照葉樹林を通しての環境教育　－　照葉樹林の重要性を学ぶ環境教育の実践	
5-1-① 環境教育のための行動計画を策定(連携：九州森林管理局)	22
5-1-① 環境教育エリア見直しのための概況調査（九州森林管理局）	23
5-1-③ 照葉樹林環境教育講座（綾町）	24
5-1-③ 生涯学習講座（綾町）	25
5-1-③ 照葉樹林に親しむイベントの開催（連携：てるはの森の会）	26
5-2-② 県有林造成事業（宮崎県）	13
5-2-② 遊歩道整備ボランティア作業（てるはの森の会）	27
6 項目：プロジェクトの情報発信　－　情報発信及び支援の輪の拡大活動	
6-1-② 会員情報（てるはの森の会）	28
6-1-③ 市民参加による自然林の復元調査及び自然林の調査（日本自然保護協会）	29
6-2-③ ホームページ等による情報発信（九州森林管理局）	30
6-2-③ 普及啓発事業（てるはの森の会）	31
6-2-④ 照葉樹林文化シンポジウム運営補助（綾町）	32
6-2-⑤ 事業説明会の開催（九州森林管理局）	33
6-3-① 環境学習事業・照葉樹林ガイドボランティア事業補助 自然環境ガイド研修事業（てるはの森の会）	34
6-4-① 森林セラピー基地整備事業（綾町）	35
7 項目：照葉樹林と共生した地域づくり　－　自然と共生した地域づくり	
7-1-① 地域づくりワーキングの設置と運営・事業補助（てるはの森の会）	36
7-1-② 照葉大吊橋 森の驛運営事業（てるはの森の会）	37
7-1-③ 多古羅周辺の調査（てるはの森の会）	38
7-3-① 綾町森林・林業関係検討会（九州森林管理局）	39
7-3-① ユネスコエコパークとの連携（綾町）	40
7-3-① 綾ユネスコエコパーク専門委員会、地域連携協議会への出席。 綾町ユネスコエコパーク運営会議における実施計画策定支援(日本自然保護協会) ...	41
8 項目：生物多様性の保全　－　生物多様性の保全管理	
8-1-④ 綾生物多様性地域戦略 実践支援事業（綾町）	42
Ⅲ 平成 28 年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連文献一覧	43
Ⅳ 平成 28 年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連新聞記事	44

第Ⅲ期短期行動計画（平成25年～29年度）

第Ⅲ期短期行動計画						平成 28 年度事業報告					
項目		第Ⅲ期課題	行動計画	実施項目	主担当	記載者	事業名	連携先	頁		
1	協働の体制づくり	綾の葉樹林プロジェクトの進めたための整備	1 協定書を見直し第Ⅳ期行動計画を作成する	① 協定書を延長するとともに必要に応じて内容の見直しを検討	全	T	綾プロ 10 周年の評価方法の検討（連携）	全	6		
			2 森林計画の策定し、照葉樹林の復元、地域づくりを推進する	② 本プロジェクトを規定する森林計画を策定	全						
			3 事務局体制を確立し、安定的な事務局業務の運営を行う	① 安定的な財政基盤を確立	全						
				② 2 名以上の専従の雇用し、事務局業務運営を行う	全						
			③ 事務局運営のための事務所の整備	全	T	プロジェクト事務局運営事業	全	7			
2	照葉樹林の保護	保護林の計画的・順応的保全管理を実施	1 保護林の保全管理計画を策定する	① 綾森林生態系保護地域の保全管理計画策定	国・N・J						
				② てるは郷土の森の保全管理計画策定	国・町						
				③ 県植物群落参考林の保全管理計画策定	県						
				④ 綾川上流緑の回廊モニタリング調査	国						
			2 保全管理計画に基づき適切な保全管理を行う	① 巡視体制の構築	全						
				② 管理施設（案内板・標識等）の整備	全						
				③ モニタリング調査	全	町	ナラ枯れ予防対策後のモニタリング調査の実施		8		
			3 綾プロエリア全域の保全管理計画の策定	① 横断的な保全管理計画の策定	国・県・町	国	横断的な保全管理計画を策定（連携）	全	9		
						県	横断的な保全管理計画を策定	国・町	10		
						町	綾町森林整備計画の見直し	国・県	11		
3	葉林復元	照葉樹林への効果的・効率的な復元を推進	1 効果的・効率的復元手法を確立する	① 復元の基本方針（構想）を策定する	国・N・J						
				② 復元の手法の確立（復元手法マニュアルの作成）	国・N・J						
			2 計画的な施業を実施する	① 計画的な間伐の実施（国有林、県有林、町有林）	国・県・町	国	人工林から照葉樹林への復元事業		12		
						県	人工林から照葉樹林への復元事業		13		
						町	人工林から照葉樹林への復元事業		14		
				② 持続的な林業経営を行うエリアにおける施業の実施	国	国	持続的林業経営における森林整備		15		
						③ 復元見本林の設置	国・N・J	T	復元見本林の検討（連携）	全	16
						④ 鳥獣捕獲の実施	国	国	有害鳥獣捕獲事業		17
			3 市民のプロジェクトの参加を推進する	① 市民参加型の復元作業の実施	国・N・J	国	照葉樹林復元ボランティア作業の実施	T	18		
			4	照葉樹林の調査研究	照葉樹林を適切に復元するための調査研究を推進し、復元に反映	1 効果的・効率的復元手法を確立する	① 調査研究ワーキンググループの設置、運営	国・NJ	T	調査研究ワーキング設置の検討（連携）	全
② 基本方針に基づき調査・研究体制の整備	全										
③ 他のワーキンググループ、調査研究機関との連携	全										
2 調査・研究のための基本方針（構想）を策定し、計画的に調査を実施する	① 調査・研究の基本方針（構想）を策定	全									
	② 基本方針に基づき毎年度計画的な調査の実施	全									
	③ 復元に必要なデータの収集と解析	国・NJ				国	照葉樹林復元の動態モニタリング及び各種試験研究成果の整理等についての業務	NJ	20 21		
3 復元効果を評価する調査研究を推進する	① 間伐後の復元状況を評価調査実施（国有林、県有林、町有林）	国・NJ									
	② データの収集、解析、復元方法へのフィードバック方法の確立	国・NJ									
4 人工林等からの照葉樹林への復元手法等を検討する	① 間伐木の処理方法等についての検討	国・T・N・J									
						① 調査・研究成果の情報発信	全				
5 調査・研究成果の共有化及びデータベースを構築する	② GIS を活用した林小班ごとの復元に必要な情報の整備	国・NJ									
	③ 調査・研究成果の共有化・データベース化	国・NJ									

※報告書の掲載方法：1事業を1頁にまとめ、短期行動計画の順に並べて掲載。

第Ⅲ期短期行動計画					平成 28 年度事業報告					
項目		第Ⅲ期 課題	行動計画	実施項目	主担当	記載 者	事業名	連携 先	頁	
5	照葉 樹林 を通 して の環 境教 育	照葉 樹林 の重 要性 を学 ぶ環 境教 育の 実施	1 環境教育プログラ ムを策定、実践	① 環境教育を実施するための行動計 画を策定	全	国	環境教育のための行動計画 を策定	全	22	
				② 環境教育エリア内の必要な整備計 画を策定	全	国	環境教育エリア見直しのた めの概況調査	〒	23	
				③ 環境教育プログラムを検討し、試 行的に実施	国・ 町・〒	町	照葉樹林環境教育講座		24	
					町	生涯学習講座		25		
					〒	照葉樹林に親しむイベント の開催（連携）	全	26		
			④ 環境教育エリア内の環境整備	全						
			2 大吊橋周辺、川中 自然公園の活用方法を 検討、整備を行うとと もに環境教育を実践す る	① 大吊り橋周辺、川中自然公園の環 境教育に関する活用方法の検討	〒					
				② 必要なルート整備を実施	県・町	県	県有林造成事業		13	
					〒	遊歩道整備ボランティア作業	県	27		
				③ 崩壊した九州自然歩道について新 たなルートを検討し、今後の活用方法 について提案	県					
6	プロ ジェ クト の情 報発 信	情報 発信 及び 支援 の輪 の拡 大活 動		1 市民や民間企業参 画のためのシステムや メニューづくりを行 い、プロジェクトを推 進する	① 綾プロの支援メニューづくり・企業 の支援メニューづくりを検討し、実践	〒				
			② サポーターの募集を行い、会員を 増やす		全	〒	会員情報	全	28	
			③ 市民参加型の林床調査を実施する （国有林、県有林、町有林）		全	NJ	市民参加による自然林の復 元調査及び自然林の調査	国・ 町・〒	29	
			2 広く一般にプロジ ェクトの内容を知って もらい、会員の拡大を 図る	① バンフレット、リーフレットの作成及び配布	全					
				② ニュースレター、報告書の作成及び配布	全					
				③ HP の作成及び更新	全	国	ホームページ等による情報発信		30	
					〒	普及啓発事業		31		
				④ フェアラム・シンポジウムを実施	町・〒	町	照葉樹林文化シンポジウ ム運営補助		32	
			⑤ 事業説明会の実施	全	国	事業説明会の開催	全	33		
			3 ガイドボランティア を養成し、市民の理 解を深め、てるはの森 の会の会員増加を図る	① ガイドボランティア事業の実施・ 養成	〒	〒	環境学習事業・照葉樹林ガイ ドボランティア事業の実施 自然環境ガイド研修事業	町	34	
② ガイドボランティアがガイドを通して市民に綾プロを 理解してもらうためのプログラム作り	〒									
4 森林セラピー基地 としての綾町の取り組 みを通して、会員増加 を図る	① 森の案内人を通した照葉樹林の新 たな活用方法を検討し森林セラピー プログラムを作成	町	町	森林セラピー基地整備事業		35				
	② ガイドボランティアとの連携体制についての検討	町・〒								
	7	照葉 樹林 と共 生し た地 域づ くり	自然 と共 生し た地 域づ くり	1 市民との協働で実 施する運営体制を構築 し、市民が積極的に綾 プロに参画できるように する	① 地域づくりワーキングの設置及び 運営	町・〒	〒	地域づくりワーキングの設 置と運営・事業補助	町	36
② てるはの森の驛の活用方法を検討 し、それに応じて必要な整備					町・〒	〒	照葉大吊橋 森の驛運営事業	町	37	
③ ふれあい調査の実施					NJ・ 〒・町	〒	多古羅周辺の調査	国	38	
2 綾町の他の事業との連携 のあり方を検討し、実行計画を策 定する				①活用方法を検討する市民協議会・ワ ーキングの設置	町・〒					
				3 綾ユネスコエコパ ークとの連携による綾 プロを推進する	① ユネスコエコパークとの連携	全	国	綾町森林・林業検討会の開催	県・町	39
町						ユネスコエコパークとの連携	全	40		
NJ						綾町ユネスコエコパーク関連の会議出 席。実施計画策定支援	町	41		
8	生物 多様 性の 保全 管理	生物 多様 性の 保全 管理	1 生物多様性保全のた めの戦略等を策定する	① 綾町の里山周辺の植生調査	NJ					
				② 生物多様性地域戦略策定～ワーキ ングの設置及び運営	NJ・ 町・〒					
				③ 生物多様性地域戦略の策定	全					
				④ 生物多様性地域戦略の実施	全	町	綾生物多様性地域戦略 実践 支援事業	NJ	42	

国は九州森林管理局、県は宮崎県、町は綾町、NJは日本自然保護協会、Tはてるはの森の会の略、全は連携会議各機関

1 項目：協働の体制づくり

事業名	(連携) 綾プロ 10 年の評価方法の検討(新規)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	1-1-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	綾プロ 10 年の活動の評価する方法を検討し、第Ⅳ期短期行動計画作成につなげる。		

○評価するにあたって

平成 17 年～平成 26 年度の 10 年間の活動の評価するに当たり、以下の点に留意している。

- ①綾の照葉樹林プロジェクトの目標達成を示す指標になっているか
- ②市民にとってわかりやすい簡潔な評価の指標になっているか
- ③綾ユネスコエコパークの定期報告にも資するものか
- ④できるかぎり定量的なデータに基づいて評価しているか

なお、この評価はレポートにまとめ、第Ⅳ期短期行動計画に反映される。

○評価の枠組み

復元の度合い、生物多様性の高まり、社会的な広がり、協働関係の機能性、運営の持続性の5つの項目を評価の枠組みとする。

○各評価の枠組みにおける目標と評価内容・指標

評価の枠組み	目標	評価内容・指標
1. 復元の度合い	人工林を照葉樹林に誘導する	①人工林を間伐した林小班の総面積の把握 ②復元の度合いの把握
2. 生物多様性の高まり	全体的に多様性が高まっている	①シカの食害の影響の確認 ②常緑種が何種類あったか
3. 社会的な広がり	多くの人が関心をもって参加している	①綾の森に関する視察・研修・観光・学習・森づくり等対応数 ②協働・協力・支援の数、広がり ③新聞・メディアでの露出数 ④論文、寄稿、講演、表彰の数 ⑤綾プロ主催イベントの市民の参加者数と件数 ⑥てるはの森の会の会員数
4. 協働関係の機能性	役割分担ができてプロジェクトが健全に運営されている	①綾プロ運営に必要な会議等を開催した回数 ②上記会議等の各者担当者数 ③協働で実施するイベントの各者のスタッフ数と件数
5. 運営の持続性	綾プロの持続的な運営がされている	①各者の年間予算 ②綾プロ負担金 ③社会的支援

<平成28年度 綾プロ連絡調整会議における議論・現地調査の経緯>

回	日 時	内 容
1	5 月 20 日	日本自然保護協会から情報提供を受けて会議で議論してく方向性にまとまる
2	6 月 24 日	事務局から 10 年の評価報告を第Ⅳ期短期行動計画に反映させるためのスケジュール案が提案される
3	7 月 14 日	議論なし
4	8 月 29 日	次回までに評価 5 本の柱をもとに 5 者でアイデアをもちよる
5	9 月 30 日	河野(耕)氏、朱宮氏の意見をもとに、事務局より検討案が提出される
6	10 月 31 日	評価方法について詳細を検討
7	11 月 25 日	調査する林分の抽出
8	12 月 26 日	現地にて(国有林) 試行調査。評価シートの再考。
9	1 月 30 日	評価シート修正案の検討
10	2 月 20 日	10 年の評価に筑波大学エコパークアンケートを付録で掲載。綾小・中学生については来年度別途アンケートを実施し掲載。
11	3 月 27 日	社会的な広がりに関するとりまとめのスケジュールを確認

事業名	プロジェクト事務局運営事業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画 -実施項目	1-3-③	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	関係機関との調整、問合せ対応、事業の企画運営などを行なう。 年2回開催の連携会議、月1回開催の連絡調整会議の連絡調整、資料作成等の準備を行う。		

○連携会議

回数	日時	主な議題
24	7月14日	平成27年度の事業報告、平成28年度の事業計画 綾プロの運営について 寄付キャンペーンについて、エコパークアンケート調査結果について
25	2月20日	平成28年度の事業取組状況 (報告)保護林制度改革における綾プロエリア検討状況、 綾プロ保全管理計画経過報告、環境教育基本計画経過報告、 平成29年度調整会議運営の確認、

○連絡調整会議

回数	日時	主な議題
1	5月20日	平成28年度からの綾プロ運営について(確認) 綾・照葉樹林ロングウォーキングについて 第24回綾プロ連携会議について
2	6月24日	県有林 見本林候補地の視察について 保全管理計画案について 第24回綾プロ連携会議について
3	7月14日	第24回綾プロ連携会議について 今後の日程(調整会議、山の日、11月間伐)
4	8月29日	連携事業について(綾プロ10年の評価、調査研究WG、等) 国有林見本林視察について、10周年寄付募集について
5	9月30日	国有林見本林視察について、11月間伐ボランティアについて
6	10月31日	綾プロ10年の評価実施方法について 綾プロ保全課管理計画案について、見本林取り扱いについて
7	11月25日	綾プロ10年の評価について、間伐ボランティアについて
8	12月26日	綾プロ10年の評価について、事業報告会の内容について
9	1月30日	事業報告会の内容について、連携会議、間伐ボランティア
10	2月20日	連携会議について、間伐ボランティアについて
11	3月27日	5月ロングウォークについて、エコパークアンケートについて

※平成28年度より綾プロ事務局が1人体制になったことを受け、調整会議の司会と議事録を5者の輪番制でおこなうことになった。
以下、方針の抜粋。

- ・レジメの作成・印刷は、事務局(てるは)がおこなう
- ・議事録当番は議事録を5者に回す(日本自然保護協会は司会だけの分担)
- ・連携会議の議事録は九州森林管理局

2 項目：照葉樹林の保護

事業名	ナラ枯れ予防対策後のモニタリング調査の実施（新規）	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	2-2-③	連携先	
事業概要 （目的）	綾プロエリア内の国有林で、ナラ枯れ防止のための薬剤注入後のモニタリング調査を実施。		
4月11日、6月14日、7月6日に国有林内の巨木に薬剤注入作業を実施。シイやカシなど6種類の樹木合計53本に注入。経過観察では対象木の完全な枯死は確認されていない。			





事業名	(連携) 横断的な保全管理計画を策定 (継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	2-3-①	連携先	連絡会議各機関
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトエリア全域の保全管理計画の策定		
平成27年度の委託事業として、綾プロの取組に沿った保全管理を推進するため国有林エリアにおける「管理計画書（案）」を作成したところであるが、綾プロ全体（町有林・県有林・国有林）での管理計画書を策定するため調整しながら作成していく。			

2 項目：照葉樹林の保護

事業名	横断的な保全管理計画を策定 (新規)	実施主体	宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	2-3-①	連携先	九州森林管理局 綾町
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトエリア全域の保全管理計画の策定するため、九州森林管理局が策定中の保全管理計画の中に宮崎県の計画を組み込む形での策定を予定している。		
宮崎県は、随時、国、町と調整しながら、九州森林管理局が策定した「管理計画書（案）」に県有林の保全管理計画を組み込んでいる。			

事業名	綾町森林整備計画の見直し（継続）	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	2-3-①	連携先	九州森林管理局 宮崎県
事業概要 (目的)	九州森林管理局が策定中の保全管理計画との連携の中で、平成25年4月に策定した綾町森林整備計画書の見直しを行う。		

綾町森林林業検討会の中で作業部会を立ち上げ、次年度の素案作成を目標に進めている。

参加組織：綾町農林振興課・ユネスコエコパーク推進室・宮崎中央森林組合・宮崎県中部農林振興局
林務課・宮崎森林管理署

実施概要：第1回 5月10日（火） 検討会の議論内容の再確認
第2回 7月 1日（金） 現地視察
第3回 8月 4日（木） 綾町森林整備計画のビジョン、更新・保育・伐採、林業施工
第4回 9月27日（火） 森林整備関係の現状、問題等について議論
第5回 11月30日（水） ゾーニング設定について
第6回 1月 5日（木） 綾町森林整備計画のゾーニング
第7回 2月13日（月） 綾町生物多様性地域戦略のゾーニングとの関連性
第8回 3月10日（金） 地域戦略・マスタープランを反映したゾーニングの検討



3 項目：照葉樹林の復元

事業名	人工林から照葉樹林への復元事業 (新規)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-2-①	連携先	
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクト復元エリア、保護林エリア、環境教育エリアの国有林内において、人工林を照葉樹林に復元するための間伐作業を実施した。		

綾の照葉樹林プロジェクトエリア毎の復元作業内容

- エリア2、3、5 保護林と保護林との間にある復元エリア及び保護林エリアのスギ・ヒノキ人工林を抜き切りし、かつての照葉樹林へ復元する作業を実施。

間伐面積：78.97ha（2099に外15）

間伐状況（2099林班）



事業名	人工林から照葉樹林への復元事業（継続） 県有林造成事業（継続）	実施主体	宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	3-2-① 5-2-②	連携先	
事業概要 （目的）	針・広混交林化を進めるエリア等において、スギ人工林の間伐を実施した。また、森林環境教育・保健休養的利用を図るとともに、人工林の針・広混交林化を進めるエリアにおいて、獣害防除及びカヤの植栽を実施した。		

※短期行動計画の内容に重複する部分があることから、2項目の事業報告をまとめて行う。

1 間伐（列状間伐30%）

（1）場 所 針・広混交林化を進めるエリア（22林班）

（2）面 積 1.46ha

（3）時 期 11月～3月



間伐前



間伐後

2 獣害防除（忌避剤散布）、防護柵設置及びカヤの補植

（1）場 所 25世紀の森（カヤとスギの複層林）

（2）面 積 3.23ha

（3）時 期 1月～3月



忌避剤散布



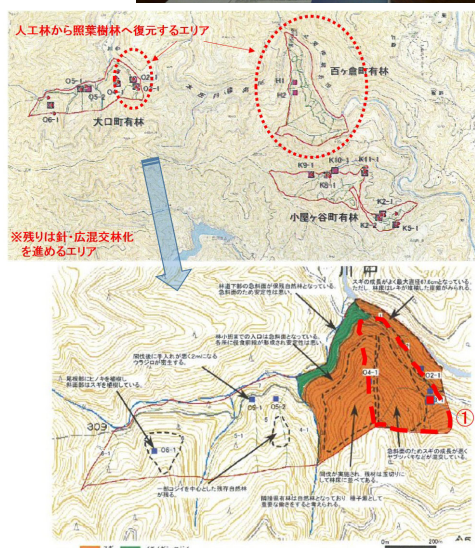
カヤ植生状況

3 項目：照葉樹林の復元

事業名	人工林から照葉樹林への復元事業（継続）	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	3-2-①	連携先	
事業概要 (目的)	綾プロエリア内町有林の保護、復元に伴う作業の検討及び検証		

綾町総務課(消防管財係)・農林振興課・ユネスコエコパーク推進室とで、今後の管理の方向性について協議を行った。

復元事業対象は百ヶ倉町有林と大口町有林の59林班ア-3、小屋ヶ谷町有林と大口町有林の59林班ア-3以外は持続的森林経営とすることとなった。



①調査地
59林班ア-3
4.32ha
スギ人工林
30年生



シカの糞を確認



2017年2月23日に調査実施
綾プロ10年の評価 町有林調査プロット

事業名	持続的林業経営エリアにおける森林整備 (継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-2-②	連携先	
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトの持続的林業経営エリアにおいて、水土保持機能を高めるため保育間伐等を実施した。		

綾の照葉樹林プロジェクト持続的林業経営エリアの作業内容

エリア 10、11 水土保持機能を高めるための保育間伐作業を実施
間伐面積：76.67h a（2139 は外 14）

間伐状況（2139 林班）



3 項目：照葉樹林の復元

事業名	(連携) 復元見本林の検討(新規)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	3-2-③	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	国・県・町からそれぞれ候補地をあげてもらい、視察を通して、見本林として適した箇所を選定する。		

綾の照葉樹林プロジェクトが照葉樹林の復元に向けて進める取組の成果を評価し、課題や問題点からよりよい復元の取り組みを進めることを目的として見本林を設置する。

国・県有林の候補地を現地調査し、国・県・町有林の見本林予定地をあげた。「見本林取り扱い(案)」では、設置基準や箇所、必要な情報や整備、取扱いについて明記することとし、平成29年度中の見本林設置終了を目指して取り組んだ。



県有林 27 林班
ウー1-1
外観



県有林 27 林班ウー1-1 内部



県有林 28 林班ウー1



国有林 2050 57 号 2 (多古羅)

事業名	綾プロエリア等における有害鳥獣捕獲 (新規)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-2-④	連携先	
事業概要 (目的)	綾南林道沿いにおいて、森林生態系等に係る鳥獣被害防止を目的に森林保全再生整備事業として鳥獣の誘引捕獲事業を実施した。		

森林保全再生整備に係る鳥獣の誘引捕獲事業の作業内容

綾南林道沿いにおいて、くくり罠を適宜設置し、一時的な餌付けによりニホンジカを誘引し捕獲する作業を繰り返し実施した。

捕獲頭数:26頭

誘引捕獲実施状況(柚園国有林2047林班)



3 項目：照葉樹林の復元

事業名	照葉樹林復元ボランティア作業の実施 (継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-3-①	連携先	てるはの森の会
事業概要 (目的)	中尾国有林において、照葉樹林復元のための間伐作業を実施した。		

平成 17 年の協定締結以来、一般企業、学生、NPO、綾町民、一般市民等、様々なボランティアの方々による照葉樹林への復元を図るための間伐作業を実施しており、平成 28 年度の第 1 回目の作業を 11 月 26 日に宮崎県綾町中尾国有林 2045 に 4 林小班に設定しているボランティア用見本林において、昨年度に引き続きソーラーフロンティア社（本社、宮崎・国富工場）の職員及び家族 38 人が参加し実施された。

また、第 2 回目の作業については、2 月 21 日に実施し、ダイワハウスの職員及び一般参加の方々、25 人が参加し実施された。

両日とも天候にも恵まれ、職場の仲間・家族等と一緒に楽しく作業を行い、参加者からは「貴重な経験ができた。今後もボランティアに参加し、森を守る活動を続けていきたい」「きつかったが楽しかった」「貴重な経験ができた」などの声が聞かれた。



事業名	(連携) 調査研究ワーキング設置の検討(新規)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	4-1-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	効率的・効果的な復元手法を確立するためのワーキング設置について、実現可能な方法を探る。		
平成28年7月11日開催の第24回連携会議にて意見があがり、本事業について検討することとなった。 平成28年8月29日開催の第4回連絡調整会議にて、議題に取り上げ検討した。現在ある諸課題、例えば保護林改編について、綾プロエリア拡大について、環境教育エリア8取り扱いについて、復元見本林設置について、効果的な復元方法の検討、等々について、調査研究ワーキングの中で具体的に検討していくことを事務局から提案した。議論の結果、当初日本自然保護協会を中心に設置したワーキングは調査研究の情報収集と研究の推進をするためのものであり、現在の諸課題解決のためのワーキングとは趣旨が異なるとの意見から、調査研究ワーキングは設置せず、調整会議の中で議論を進めて行くこととなった。			

4 項目：照葉樹林の調査研究

事業名	照葉樹林復元の動態モニタリング及び各種試験研究成果の整理等についての業務（新規）	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画-実施項目	4-2-③	連携先	NACS - J
事業概要（目的）	綾プロエリア内で、過去に設定した調査プロットについて動態調査を実施するとともに、これまで実施した調査研究の成果を取りまとめ照葉樹林への効率的・効果的な復元に資するための整理を行う。		

★距離別実生発生調査

周辺の保護樹帯等から人工林の中に照葉樹林構成種や他の広葉樹の種子がどの程度進入し発芽しているかを把握すると同時に、間伐が実生発生に与える効果を検証する。

○間伐は林床照度を増加させ、発芽、稚樹の生育を促進させている効果が見られる。

○間伐未実施の場合は、上部に種子供給源があっても下層の実生個体数は増加せず、変化がない。

○種子供給源となる保護樹帯等から距離が離れるに従い、実生出現個体数は減少する。

○シカによる採食圧が長期間であった場合、間伐等の施業を行っても発芽可能な種子が減少し、すぐには個体数の増加には繋がらない。

★種子供給源・供給量調査

種子供給源となる人工林に隣接した照葉樹林や落葉広葉樹林を調査することで、種子を供給する広葉樹の生育状況や樹種構成を把握し、効率的な照葉樹林復元に向けての基礎資料を収集する。

○天然林では標高に応じた樹種構成が見られたが、二次林では標高に応じた樹種構成が見られたが、二次林では標高が同じでも、地形条件によって樹種構成にばらつきが見られる。高標高地においては照葉樹ではアカガシ・シキミ等が、落葉広葉樹ではブナ・ヒメシャラ等が種子供給源となる。

○種子供給源に存在する種で、人工林には見られなかった種が多く見られ、隣接する森林でも必ずしも種子が供給される訳でもない。一方で種子供給源には存在しないが、人工林で出現した種も多く出現していることから、広い空間スケールから種子の供給を受けていることが示唆される。

○隣接する森林の存在だけでなく、より広いスケールの森林環境や種子散布を担う動物の生息を考慮することも重要である。

★シカ影響調査

植生にシカが与える影響を把握するため、シカの採食圧を排除した場合の照葉樹等の更新状況等を調査し、実生発生・生存に対するシカネットの効果を検証する。

○シカネットの効果が明確ではないプロットが多いが、種子供給源となる母樹が近くにある河川沿いに設置した1プロットでは効果が現れ始めている。

○残りの4プロットにおいては、種子供給源からの距離が離れていることや、シカネット設置前に長期にわたってシカによる食害を被り、埋土種子が枯渇している可能性があることから、今後もモニタリングを継続し、シカネットの効果を検証する必要がある。

★播種による実生定着効果の検証

シカの採食圧を排除した状況で播種による実生の発生を検証し、播種による手法が照葉樹林復元に果たす役割について評価する。

○復元を行うレベルでの大量の種子を採取し播種するという作業は技術的に容易ではない。

○種子の豊凶を観察し、順応的に復元の手助け（間伐）をする必要がある。

○種子生産や散布・発芽等については不明な点が多いため、1回の調査結果のみで有効性を判断することは難しい。

★ブナ科植物の生育状況に係る要因調査

照葉樹林の主要高木種であるブナ科植物の生育状況と、各プロットの環境要因との相関関係を整理し、ブナ科実生の生育に効果的な環境要因を抽出する。

○ブナ科植物の実生本数と高い相関性が見られたのは、斜面の位置と植栽木以外の立木密度であった。

○斜面位置と実生の数には負の相関があり、斜面下部の方が、実生が発生しやすい傾向が見られ、気温や湿度等の環境条件が関連している可能性がある。また、植栽木以外の立木密度とは高い正の相関があり、植栽木以外の種が多く進入している箇所の方が生育に有利な傾向が見られた。

○復元のための間伐を進める上で、植栽木以外の広葉樹を出来るだけ残すことが重要。

★実生発生の環境要因との関係整理調査

実生の数と環境要因の関係を明らかにするため各要因の影響の強さを評価した。

○施業タイプ・施業後の年数・広葉樹密度・傾斜・斜面方位・種子供給源からの距離・シカネットの有無を変数として分析を行ったところ、実生本数に対して群状間伐はマイナス、施業後の年数もマイナス、傾斜はプラスという結果であり、傾斜があるほど地形が複雑となり、シカのアクセスが阻害され実生の生存や伸長に効果があると示された。

○傾斜が緩い場所では、間伐に加えてシカネットを設置するなどの対応が必要。

★間伐の試行伐採による実生発生状況調査

様々な伐採方法を試行し、実生発生の促進効果を検証し、各間伐方法の効果と今後の持続性について調査した。

○間伐後4年目における間伐手法の評価

評価項目	評価の視点	間伐手法			
		50% 定性間伐	20m 群状間伐	30m 群状間伐	2残5伐列状間伐
光環境改善効果	効果あり・なし	△	◎	◎	○
	4年目までの継続性	×	◎	◎	○
	今後の継続性	×	◎	◎	△
前生稚樹の 成長促進効果	効果あり・なし	—	○	○	○
	4年目までの継続性	○	○	○	○
	今後の継続性	△	◎	◎	◎
新規加入実生の 定着促進効果	効果あり・なし	○	○	○	○
	4年目までの継続性	○	○	△	○
	今後の継続性	△	○	△	△

◎：大いに効果あり

△：少しは効果あり

○：効果あり

×：効果なし

5 項目：照葉樹林を通しての環境教育

事業名	(連携) 環境教育のための行動計画を策定 (継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	5-1-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	環境教育エリアの活用、また、環境教育実践のための基本方針を綾プロ内で決定する。		
平成26年12月に中間取りまとめが行われているが、最終的な基本方針の取りまとめが出来ていないことから、環境教育エリアや活動の見直しも含め、調整しながら策定に向け継続して取り組む。			

事業名	環境教育エリア見直しのための概況調査 (新規)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	5-1-①	連携先	てるはの森の会・ 綾町
事業概要 (目的)	綾プロエリア内の環境教育エリアについて、実質的なエリアを検討するための概況調査を実施。		
綾プロ対象地での国有林では、目的に応じて保護林エリア（①、②、④、⑦）・人工林からの復元エリア（③、⑤）・二次林からの復元エリア（⑥）・環境教育エリア（⑧、⑨）・持続的林業経営エリア（⑩、⑪）に区分して、各エリアの目的に沿った活動を実施しているところであるが、その中で環境教育エリア（⑧、⑨）については、立地条件等から環境教育の場としての利用が難しく、現時点であまり利用がされていないことから、新たに環境教育の場として利用可能な箇所の選定、及び全体的なエリア見直しが必要となっている。 このことから、川中・多古羅川周辺の森林資源の状況把握、かつて稼働していた森林軌道・製材所についての概要や、そこで暮らしていた方からの聞き取り調査、河川を利用した自然環境学習に利用するための情報収集を実施した。 今後、調査結果をもとに綾プロにおいて環境教育エリアの見直しや、間伐ボランティアに変わる環境教育プログラムについて検討していくこととする。			

5 項目：照葉樹林を通しての環境教育

事業名	照葉樹林環境教育講座（継続）	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	5-1-③	連携先	
事業概要 (目的)	綾小中学生に対する環境教育の実施		

■綾の自然についての講話

1. 日 時：平成28年6月2日(木)
2. 場 所：綾中学校
3. 内 容：総合的な学習の時間の一環で、綾中学校1年生63名に対し、綾の自然環境の講話を行った。

■綾の自然についての調べ学習

1. 日 時：平成28年6月9日(木)
2. 場 所：綾てるは図書館
3. 内 容：6月2日に実施した綾の自然環境についての講演を受け、図書館で調べ学習を行うということで、そのサポートを行った。

■綾の自然を学ぶ野外学習

1. 日 時：平成28年6月23日(木)
 2. 場 所：綾照葉大吊橋・ビオトープ
 3. 内 容：地元綾の自然についての理解を深めるために、先に実施した綾の自然環境についての講演、および図書館での調べ学習ののち、照葉樹林や生き物などの説明と自然観察を行った。
1. 日 時：平成28年5月17日(火)、6月7日(火)、6月16日(木)、6月21(火)
 2. 場 所：ビオトープ
 3. 内 容：総合的な学習の一環で、綾小学校の4年生65名を対象に自然環境教室(ビオトープ観察会)を実施した。



事業名	生涯学習講座(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	5-1-③	連携先	
事業概要 (目的)	町民を対象に照葉樹林文化を学ぶ講座を開設(教育委員会主催)		

講座実施状況(6月から実施 延べ196名参加)

回数	日程	参加人数	開催場所	内 容	講 師
第1回	6月14日 (火)	24名	竹野周辺	植物観察	河野耕三
第2回	7月12日 (火)	23名	北麓周辺	植物観察・修験道の滝	河野耕三
第3回	8月9日 (火)	26名	野首谷遊歩道	里の植物観察	河野耕三
第4回	9月13日 (火)	21名	尾立周辺	史跡跡、尾立物見やぐら	河野耕三
第5回	10月11日 (火)	21名	倉輪地区	棚田と周辺の植物観察	河野耕三
第6回	11月8日 (火)	16名	川中セラピーコース	炭焼釜跡、製材所跡等の見学	河野耕三
第7回	12月13日 (火)	16名	宮原	明見神社、馬頭観音等の見学	河野耕三
第8回	1月10日 (火)	14名	役場周辺	武家屋敷、里の植物観察	河野耕三
第9回	2月14日 (火)	16名	三本松周辺	河川の植物観察、湾処	河野耕三
第10回	3月14日 (火)	19名	古屋公園	春の植物観察	河野耕三



【2月 三本松周辺】



【3月 古屋公園】

5 項目：照葉樹林を通しての環境教育

事業名	(連携) 照葉樹林に親しむイベントの開催(新規)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画-実施 項目	5-1-③	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	町民を対象に、照葉樹林に親しむ散策や体験等を企画し、綾プロへの理解を深める		

活動報告

事業名 綾・照葉樹林ロングウォーキング
 実施日 2016 年 5 月 21 日(土) 9:00~14:00 (集合:綾町役場裏駐車場)
 実施場所 県道 26 号線(吊橋第 4P~川中自然公園:山菜のふるまい)
 参加人数 参加者 23 名、スタッフ 23 名
 ガイド 河野耕三、河野円樹、朱宮丈晴、猪崎悦子、駒田勤
 主催 綾の照葉樹林プロジェクト推進協議会(事務局:てるはの森の会)
 予算 てるはの森の会(参加無料)

5月21日(土) 晴天スケジュール

時間	内容	場所
8:00	スタッフ集合・ミーティング	綾町役場裏駐車場
8:15~8:50	会場設営	
8:50~9:00	受付開始、グループ分け	〃
9:00~9:10	開会式 挨拶	〃
9:10~9:30	マイクロバス乗車(吊橋第 4P へ移動)	〃 出発
9:30~9:35	マイクロバス下車	大吊橋第 4 駐車場
9:35~12:00 (~12:30 最終)	ロングウォーク出発 5 班でウォーキング (約 3.5km)	〃 出発 県道 26 号
12:00~13:20	ロングウォーク到着 昼食(各自持参)・自由 天ぶら振る舞い・アンケート	川中自然公園駐車場
13:20~13:30	閉会式 挨拶	〃
13:30~14:00	マイクロバス乗車	〃 出発
14:00~14:10	マイクロバス下車、参加者解散	綾町役場裏駐車場
14:10~14:30	会場片付け	
14:30	解散	

参加者23名 (町民19名、町外4名) (会員8名、会員外15名) (30代1名、50代4名、60代13名、70代5名)
 (女性18名、男性5名)

事業名	遊歩道整備ボランティア作業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目－行動計画－ 実施事項	5-2-②	連携先	宮崎県
事業概要 (目的)	照葉大吊橋付近の県有林遊歩道を整備し、新たな散策ルートとして活用する。		

【歩道の整備】

- ◆実施日：10月18日（火） 12:00～15:00
 参加者：2名（会員1名、スタッフ1名）
 その他：遊歩道の通行確認と枝落とし



通行をふさぐ場所のみ枝落とし



落石注意場所を確認

- ◆実施日：2月28日（火） 10:00～14:00
 参加者：2名（会員2名）
 その他：歩道の通行確認と落ち葉かき等による整備

【ガイド】

- ◆実施日：11月8日（火） 8:30～11:30
 参加者：18名（一般14名、スタッフ4名）
 その他：日本山岳会高尾の森づくりの会
 （日本の美林見学会）



入口看板でコース説明

6 項目：プロジェクトの情報発信

事業名	会員情報(継続)	実施主体	てるはの森の会											
項目-行動計画- 実施項目	6－1－②	連携先	全											
事業概要 (目的)	官民協働プロジェクトを推進するため、市民参加の窓口としててるはの森の会会員へ入会を募集するほか、賛同者の寄付による参加を募集する。													
○正会員数　：H29.3.31現在 10名（内、理事5名） ○賛助会員数：H29.3.31現在 個人サポート会員　122件 法人サポート会員　26件 団体サポート会員　10件 ○会費収入：572,000円 ○寄付金収入：559,207円 <table><tr><td>10周年寄付キャンペーン</td><td>435,500</td><td rowspan="5">宮崎森林管理署手当</td></tr><tr><td>個人寄付</td><td>70,555</td></tr><tr><td>イベント等募金・ その他寄付</td><td>34,676</td></tr><tr><td>てるは大吊橋募金箱</td><td>18,476</td></tr><tr><td>計</td><td>559,207</td></tr></table> 【10周年寄付キャンペーン内訳】総額435,500円 ◎寄付額：1万円未満 ・会員　30名　65,000円 ・非会員29名　36,000円 ◎寄付額：1万円以上 ・会員　16名304,500円 ・非会員　3名　30,000円				10周年寄付キャンペーン	435,500	宮崎森林管理署手当	個人寄付	70,555	イベント等募金・ その他寄付	34,676	てるは大吊橋募金箱	18,476	計	559,207
10周年寄付キャンペーン	435,500	宮崎森林管理署手当												
個人寄付	70,555													
イベント等募金・ その他寄付	34,676													
てるは大吊橋募金箱	18,476													
計	559,207													

事業名	市民参加による自然林の復元調査(継続)及び自然林の調査(継続)	実施主体	N A C S - J
項目-行動計画-実施項目	6-1-③	連携先	綾町、てるはの森の会、九州森林管理局、宮崎県
事業概要 (目的)	綾プロエリア内の間伐事業実施後の林床植生の組成や構造を明らかにすること(国有林、県有林)、参加した市民に復元の状態を知ってもらいプロジェクトに関心を持ってもらうことを目的する。		

国有林と県有林における市民参加の林床植生調査の実施

2016年11月25日に国有林(2045に林小班)で実施し、ボランティアの市民が10名(うち2名スタッフ)参加した。2017年2月25日に県有林(27林班ウ-1-1)で実施し、ボランティアの市民が12名(うち3名スタッフ)が参加した。国有林は前回2006年10月21日と2010年12月19日に調査が行われた。県有林は2009年9月7日に調査が行われた箇所を再調査した。国有林に関しては、樹冠投影図を作成した。その結果、間伐後も常緑広葉樹の侵入は見られたが、ニホンジカの影響により間伐前よりも優占度が減少していることがわかった。

表1 生活形ごとの相対優占度(%)の変化(国有林)

生活形	相対優占度(%)		
	2006年	2010年	2016年
針葉樹	6.3	9.2	59.8
常緑高木種	33.2	11.4	3.6
常緑低木種	56.3	69.6	27.4
落葉高木種	0.4	1.0	1.9
落葉低木種	0.3	2.5	2.1
草本植物	0.7	2.1	3.0
ツル植物	2.4	3.3	1.9
シダ植物	0.2	0.9	0.4
不明	0.3	0.1	
合計	100.0	100.0	100.0

写真1 2016年11月25日に実施された林床調査



6 項目：プロジェクトの情報発信

事業名	ホームページ等による情報発信 (継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-2-③	連携先	
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトでの取組について、局ホームページ等に掲載し広く情報を発信する。		
○九州森林管理局のホームページに平成28年度までの各種取り組みについて掲載し、情報を発信した。 http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/aya/torikumi.html ○九州森林管理局で発行している広報誌「広報 九州」にも、各種会議、イベント等を掲載し、情報発信した。 http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/koho/koho_si/koho_kyusyu/index.html			

事業名	普及啓発事業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画-実施項目	6-2-③	連携先	全
事業概要 (目的)	ホームページの更新やニュースレターの発行、イベントでの展示ブース出展等の広報活動を行なう。 ホームページ上にて報告書を掲載。		

○広報誌「照葉樹林だより」の発行

- ・第 46 号 7 月 31 日発行：
「H27 年度活動報告」
「ナラ枯れ予防剤の樹幹注入について」他
- ・第 47 号 1 月 1 日発行：9 月 12 月合併号
「日向夏栽培とニホンミツバチ」
「ユネスコエコパークの
最近の動向と世界の BR」他
- ・第 48 号 3 月 31 日発行：
「ニホンジカが綾の森を食べはじめた
時期と場所を探る」
「綾ユネスコエコパークについての
住民アンケート調査報告」他

○てるはの森の会のホームページ

<http://teruhanomori.com/>

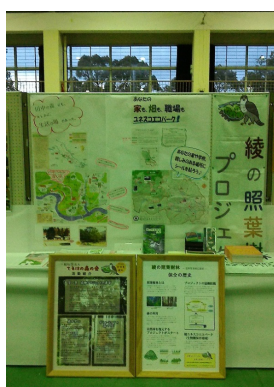
○てるはの森の会 facebook での情報発信

○視察対応 (計 4 回 23 名)

10 月 17 日	月	宮崎県職員研修	5 名
11 月 15 日	火	JICA パプアニューギニア研修	6 名
11 月 26 日	土	フォレストマントル上鹿川	11 名
12 月 15 日	木	ヤマビル研究会 谷重和	1 名

○広報 (計 5 回)

12 月 1 日	木	Web 版環境省広報誌『エコジン』
11 月 12,13 日	土日	綾町総合文化祭展示
11 月 27 日	日	綾町工芸まつり
12 月 4 日	日	照葉樹林クリーンアッププロジェクト
2 月 12 日	日	綾プロボランティア表彰(事業報告)



綾町総合文化祭パネル出展
(11 月 12, 13 日)



綾町工芸まつりブース出展
(11 月 27 日)

6 項目：プロジェクトの情報発信

事業名	照葉樹林文化シンポジウム運営補助(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	6-2-④	連携先	綾の自然と文化を 考える会
事業概要 (目的)	実行委員会への補助		

【第22回 照葉樹林文化シンポジウム】

日 時 平成29年3月19日(日)午後1時30分～午後5時 交流会 午後6時～
場 所 綾川荘2階大広間
参加人数 45名

挨拶	シンポジウム実行委員長 郷田美紀子 綾町長 前田穰
講演	「神棲む森の思想」 高山文彦氏
綾神楽復元への 第一歩	神事 神楽奉納 神楽習い披露 神楽ワークショップ(コーディネーター:高見乾司氏)

- ・第19回から継続して、「綾神楽復元」に取り組んできたが、その仕上げとして、今回は、「綾神楽第2番」を披露し、本格的な復元に向けた第一歩を踏み出した。



事業名	(連携) 事業説明会の開催 (継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-2-⑤	連携先	連絡会議各機関
事業概要 (目的)	綾町町民等を対象に事業説明会を開催し、各機関での取組を説明する。		

綾町民を対象に毎年開催している、綾プロの事業説明会を2月12日の「綾町公民館大会」に合わせ実施した。

当日は、綾町公民館ホールにおいて宮崎森林管理署より綾プロの概要や活動の広がりについて説明するとともに、綾プロエリア内、町有林の「大口遊歩道」整備に尽力された大津留司さん、「げんだぼの森」の整備に尽力された藤本綾子さんを、綾の照葉樹林プロジェクトが目指す官民協働に大きく貢献したとして、綾プロから表彰した。



6 項目：プロジェクトの情報発信

事業名	環境学習事業 照葉樹林ガイドボランティア事業補助(継続) 自然環境ガイド研修事業(新規)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画 -実施項目	6-3-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	大吊橋周辺遊歩道などで照葉樹林の貴重さや綾プロを普及させるため、照葉樹林ガイドボランティア実践活動やプロジェクトの視察対応、広報活動を行う。		

① 照葉樹林ガイドボランティア実践活動

代表的景勝地大吊り橋周辺遊歩道2kmをボランティアガイドの案内で散策する。

参加者合計 12回 277名

実施月	実施回数	参加者数	実施月	実施回数	参加者数	実施月	実施回数	参加者数
4月	なし	—	8月	なし	—	12月	1回	3名
5月	1回	23名	9月	1回	42名	1月	なし	—
6月	1回	43名	10月	2回	66名	2月	なし	—
7月	1回	15名	11月	2回	17名	3月	3回	68名

※川中でのガイド・環境教育計3回96名を含む

②照葉樹林ガイド スキルアップ研修

九州自然協議会in大分にて豊後大野市ジオサイトツアーに参加しガイド研修とした

③自然環境ガイド研修事業

綾町の委託を受け実施。対象者は森林セラピーガイド、照葉樹林ガイド、綾里ガイド等。
(計8回延べ160名参加)

	講座名(仮)/講師	日程
第1回	『綾町の自然を守る町づくりの歴史』 講師：曾我 傑氏(綾町地域おこし協力隊) 参加者 30名、スタッフ4名(全2回延べ)	①11月30日(水) 19:00~20:30 綾町役場会議室
		②12月3日(土) 10:30~12:00 綾町役場会議室
第2回	『ヤマビルの生態と対処法について』 講師：谷 重和氏(一般財団法人ヤマビル研究会) 参加者 26名、スタッフ4名	12月15日(木) 18:30~20:30 綾町役場会議室
第3回	『野外活動におけるリスクマネジメントについて』 講師：宮地 元氏(NPO法人みずのとらBELL隊) <座学>参加者 26名、スタッフ6名(全2回、延べ) <フィールドワーク> 参加者 42名、スタッフ6名(全2回、延べ)	<座学> ①1月16日(月) 13:30~16:30 綾町役場会議室 ②1月27日(金) 13:30~16:30 綾町役場会議室
		<フィールドワーク> ①1月17日(火) 13:30~15:30 ひやらひゃーつウォーク馬事公苑野首谷コース
		②1月28日(土) 13:30~15:30 川中森林セラピーコース
第4回	『救命入門・応急手当基礎講習』応急手当研修センター (心肺蘇生法・AEDの使用法・止血法・搬送法、など) 参加者 14名、スタッフ2名	2月17日(金) 14:00~16:00 綾町教育委員会 高年者研修センター

※その他、綾里ガイド研修3コース延べ8回実施

④上畑体験ツアー・視察受け入れを3月20日、3月28日に実施した。延べ31名参加。

事業名	森林セラピー基地整備事業(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	6-4-①	連携先	
事業概要 (目的)	森林セラピー推進協議会で、ロードの整備、案内人の募集・養成を行う		
① 森林セラピーガイド 森林セラピーガイドを 10 回、168 人に対して実施した。 現在ガイドは 20 人が登録している。 ② 森林セラピー関係機関会議 ○全国ネットワーク会議 会員 51 団体 ・総会（東京） 7 月 13 日（水）・14 日（木） 綾町は理事 ○九州・沖縄ネットワーク会議 会員 11 団体 ・総会(鹿児島県霧島市) 5 月 31 日（火） ・担当者会（基地持ち回り） 2 回 5 月 12（木）・13 日（金） 宮崎県日南市 2 月 16（木）・17 日（金） 大分県大分市 ・イベント			

7 項目：照葉樹林と共生した地域づくり

事業名	地域づくりワーキングの設置と運営 事業補助(継続)	実施主体	てるはの森の会																																																								
項目-行動計画- 実施項目	7-1-①	連携先	綾町																																																								
事業概要 (目的)	地域づくりWGは、綾プロジェクトの推進体制や当プロジェクトを活用した地域振興等に関する事項を検討し、住民参加を促すことを目的とする。 平成 24 年より綾町の地域自然調査 (MAP づくり) を進めてきた綾里歩きコース「綾ひやらひやーつウォーク」3 コースのお披露目イベントを開催することができた。 今年度から制定された 8 月 11 日山の日、地域づくり WG 委員の生業やふれあい調査結果を活かした森の散策を実施することができた。 ワーキング委員会実施スケジュール <table> <tr> <th></th><th>日 程</th><th>委 員 会 の 内 容</th><th>参 加 人数</th></tr> <tr> <td>1</td><td>6 月 29 日 (水) 19:00~21:00</td><td>1. 平成 28 年度 ワーキング委員メンバーについて 2. 平成 28 年度 活動計画 (案) について 3. その他</td><td>10 人</td></tr> <tr> <td>2</td><td>7 月 20 日 (水) 19:00~21:00</td><td>1. 山の日「猟師と行く川中ツアー」(8/11)企画について 2. 視察について 3. その他</td><td>9 人</td></tr> <tr> <td>3</td><td>10 月 18 日 (火) 19:00~20:30</td><td>1. 今後の予定について</td><td>10 名</td></tr> <tr> <td>4</td><td>11 月 22 日 (火) 19:00~20:30</td><td>綾里ウォーク全体企画案の検討</td><td>12 名</td></tr> <tr> <td>5</td><td>12 月 19 日 (月)</td><td>綾里ウォーク全体企画案の進捗状況報告</td><td>13 名</td></tr> <tr> <td>6</td><td>1 月 17 日 (火) 19:00~20:30</td><td>ひやらひやーつウォークお披露目イベントについて</td><td>12 名</td></tr> <tr> <td>7</td><td>2 月 15 日 (水) 19:00~20:30</td><td>ひやらひやーつウォークお披露目イベントについて</td><td>7 名</td></tr> </table> その他事業実施スケジュール <table> <tr> <th></th><th>日 程</th><th>事 業 内 容</th><th>参 加 人数</th></tr> <tr> <td>1</td><td>8 月 11 日 (木・祝) 9:00~13:30 参加人数 22 名、スタッフ 12 名</td><td>「猟師と行く川中ツアー」 ガイド 小西俊一</td><td>34 人</td></tr> <tr> <td>2</td><td>9 月 15 日 (木) 9:00~19:00</td><td>鹿児島県姶良市錦江湾 なぎさミュージアム視察</td><td>10 人</td></tr> <tr> <td>3</td><td>3 月 4 日 (土) 9:30~12:00 参加者 19 名、ガイド 6 名、スタッフ 3 名</td><td>綾ひやらひやーつウォークお披露目イベント 錦原・綾城コース</td><td>28 名</td></tr> <tr> <td>4</td><td>3 月 20 日 (月・祝) 9:30~11:30 参加者 15 名、ガイド 3 名、スタッフ 1 名</td><td>綾ひやらひやーつウォークお披露目イベント 上畑コース</td><td>19 名</td></tr> <tr> <td>5</td><td>3 月 20 日 (月・祝) 9:30~11:30 参加者 8 名、ガイド 3 名、スタッフ 6 名</td><td>綾ひやらひやーつウォークお披露目イベント 宮原コース</td><td>17 名</td></tr> </table>				日 程	委 員 会 の 内 容	参 加 人数	1	6 月 29 日 (水) 19:00~21:00	1. 平成 28 年度 ワーキング委員メンバーについて 2. 平成 28 年度 活動計画 (案) について 3. その他	10 人	2	7 月 20 日 (水) 19:00~21:00	1. 山の日「猟師と行く川中ツアー」(8/11)企画について 2. 視察について 3. その他	9 人	3	10 月 18 日 (火) 19:00~20:30	1. 今後の予定について	10 名	4	11 月 22 日 (火) 19:00~20:30	綾里ウォーク全体企画案の検討	12 名	5	12 月 19 日 (月)	綾里ウォーク全体企画案の進捗状況報告	13 名	6	1 月 17 日 (火) 19:00~20:30	ひやらひやーつウォークお披露目イベントについて	12 名	7	2 月 15 日 (水) 19:00~20:30	ひやらひやーつウォークお披露目イベントについて	7 名		日 程	事 業 内 容	参 加 人数	1	8 月 11 日 (木・祝) 9:00~13:30 参加人数 22 名、スタッフ 12 名	「猟師と行く川中ツアー」 ガイド 小西俊一	34 人	2	9 月 15 日 (木) 9:00~19:00	鹿児島県姶良市錦江湾 なぎさミュージアム視察	10 人	3	3 月 4 日 (土) 9:30~12:00 参加者 19 名、ガイド 6 名、スタッフ 3 名	綾ひやらひやーつウォークお披露目イベント 錦原・綾城コース	28 名	4	3 月 20 日 (月・祝) 9:30~11:30 参加者 15 名、ガイド 3 名、スタッフ 1 名	綾ひやらひやーつウォークお披露目イベント 上畑コース	19 名	5	3 月 20 日 (月・祝) 9:30~11:30 参加者 8 名、ガイド 3 名、スタッフ 6 名	綾ひやらひやーつウォークお披露目イベント 宮原コース	17 名
	日 程	委 員 会 の 内 容	参 加 人数																																																								
1	6 月 29 日 (水) 19:00~21:00	1. 平成 28 年度 ワーキング委員メンバーについて 2. 平成 28 年度 活動計画 (案) について 3. その他	10 人																																																								
2	7 月 20 日 (水) 19:00~21:00	1. 山の日「猟師と行く川中ツアー」(8/11)企画について 2. 視察について 3. その他	9 人																																																								
3	10 月 18 日 (火) 19:00~20:30	1. 今後の予定について	10 名																																																								
4	11 月 22 日 (火) 19:00~20:30	綾里ウォーク全体企画案の検討	12 名																																																								
5	12 月 19 日 (月)	綾里ウォーク全体企画案の進捗状況報告	13 名																																																								
6	1 月 17 日 (火) 19:00~20:30	ひやらひやーつウォークお披露目イベントについて	12 名																																																								
7	2 月 15 日 (水) 19:00~20:30	ひやらひやーつウォークお披露目イベントについて	7 名																																																								
	日 程	事 業 内 容	参 加 人数																																																								
1	8 月 11 日 (木・祝) 9:00~13:30 参加人数 22 名、スタッフ 12 名	「猟師と行く川中ツアー」 ガイド 小西俊一	34 人																																																								
2	9 月 15 日 (木) 9:00~19:00	鹿児島県姶良市錦江湾 なぎさミュージアム視察	10 人																																																								
3	3 月 4 日 (土) 9:30~12:00 参加者 19 名、ガイド 6 名、スタッフ 3 名	綾ひやらひやーつウォークお披露目イベント 錦原・綾城コース	28 名																																																								
4	3 月 20 日 (月・祝) 9:30~11:30 参加者 15 名、ガイド 3 名、スタッフ 1 名	綾ひやらひやーつウォークお披露目イベント 上畑コース	19 名																																																								
5	3 月 20 日 (月・祝) 9:30~11:30 参加者 8 名、ガイド 3 名、スタッフ 6 名	綾ひやらひやーつウォークお披露目イベント 宮原コース	17 名																																																								

事業名	照葉大吊橋森の驛運営事業(継続)	実施主体	てるはの森の会・
項目-行動計画 -実施項目	7-1-②	連携先	綾町
事業概要 (目的)	照葉大吊橋食堂跡地において、「てるは森の驛」(1F:無料休憩所、照葉樹林に関するビデオコーナーやパネル等を展示、2F:木のおもちゃで遊べる木育体験コーナー、3F:飲食物を提供する軽食堂)を運営する。		

○3F: 飲食物を提供する軽食堂「てるは森の驛」



食堂のようす

○2F: 木育広場として活用



木育広場

○1F: 森の紹介ビデオコーナー



ビデオコーナー

7 項目：照葉樹林と共生した地域づくり

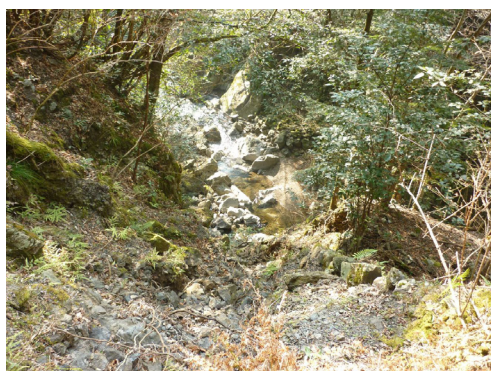
事業名	多古羅周辺の調査(新規)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	7-1-③	連携先	九州森林管理局
事業概要 (目的)	これまで「ふれあい調査」で川中周辺のトロッコ道と沿線での人々の暮らしを調査している。合わせて多古羅周辺でも聞き取り調査を行っており、それらを記録にまとめるほか、環境教育での利用の可能性を調査する。		

2017年2月13～15日にかけて、宮地元（NPO法人みずのとらBELLE隊 熊本）を招き、環境教育で多古羅川の利用の可能性について調査した。同時に、川中自然公園駐車場、大吊橋周辺についても調査した。

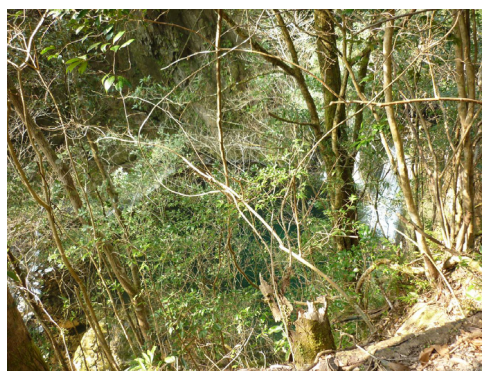
この調査結果と、昨年度まで実施した「ふれあい調査」の聞き取りデータを記録にまとめた。



多古羅で青年期を過ごした井ノ口三郎氏が同行



アクセスポイント



取水場所での川体験活動を検討

事業名	綾町森林・林業関係検討会の開催 (継続)	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	7-3-①	連携先	綾町 宮崎県
事業概要 (目的)	綾町の森林・林業に関わる関係機関(綾町、宮崎中央森林組合、中部農林振興局、宮崎森林管理署)により、綾町の森林・林業が綾 BR の推進にふさわしいものとなるよう具体の解決に向けた検討を実施。		

綾町森林・林業関係検討会

1 実施概要

綾町の森林・林業の現状、問題、課題等についての意見交換等を行い、この結果を踏まえ、次期綾町森林整備計画（案）の策定に向けて、現計画の見直しについて検討。

2 実施内容

5月10日 (親会)	異動に伴う構成メンバーの変更により、これまでの論議内容等について再確認、情報共有
7月1日 (親会)	綾町内の民有林を概観的に現地視察し、現地視察で感じた現状、問題、課題等について意見交換
8月1日 (親会)	検討会の今後の進め方について意見交換
9月27日 (親会)	森林整備関係の現状、問題、課題について意見交換
10月28日 (親会)	森林づくりの長期ビジョンについて意見交換
11月30日 (親会)	ゾーニング設定について意見交換
12月20日 (親会)	綾町長に検討会のこれまでの取組の成果と今後の取組について説明
1月5日 2月13日 (作業部会)	綾町森林整備計画「公益的機能別森林等の整備に関する事項」の見直し（案）の検討
3月10日 (親会)	作業部会で検討した綾町森林整備計画「公益的機能別森林等の整備に関する事項」の見直し（案）を説明し、親会で了承

7 項目：照葉樹林と共生した地域づくり

事業名	ユネスコ エコパークとの連携(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	7-3-①	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	綾ユネスコ エコパークと連携することで、綾プロの認知度を高め、活動を活性化 する。		

■綾ユネスコエコパーク(BR)推進の根幹となる協議会等の運営

平成 28 年 5 月 25 日(水) まちづくり協議会総会・役員会

〃 6 月 14 日(火) 地域づくり部会

〃 6 月 28 日(火)・3 月 22 日(水) 調査教育部会

〃 6 月 29 日(水)・3 月 15 日(水) 生物多様性保全部会

〃 8 月 2 日(火) 専門委員会

〃 8 月 25 日(木) 運営会議

〃 8 月 29 日(月) 地域連携協議会

各種協議会等を上記のとおり開催した。専門委員会および運営会議にて、「綾 BR 管理運営計画」について協議し、地域連携協議会にて最終的な承認を得た。



＜綾BR地域連携協議会＞



＜綾BR運営会議＞

■綾ユネスコエコパークエリアの拡張にむけた生物の基礎調査を実施した。

■町民への綾ユネスコエコパークに関するアンケート調査補助を行った。

■綾ユネスコ エコパーク年間活動 平成28年度活動実績 172日、222件

視察対応数は前年度とほぼ同じ。シンポジウム・イベント等が若干増加している。28年度から新たに綾プロイベントとして、「綾・照葉樹林ロングウォーク」が開催された。

()内は綾プロ関連の件数。

1 視察・外部対応	45件(44件)
2 講義及び講演等の実施	36件(26件)
3 シンポジウム・イベント等の開催	23件(20件)
4 取材対応	1件(1件)
5 調査・作業	30件(26件)
6 会議・下見・打合せ等	87件(71件)

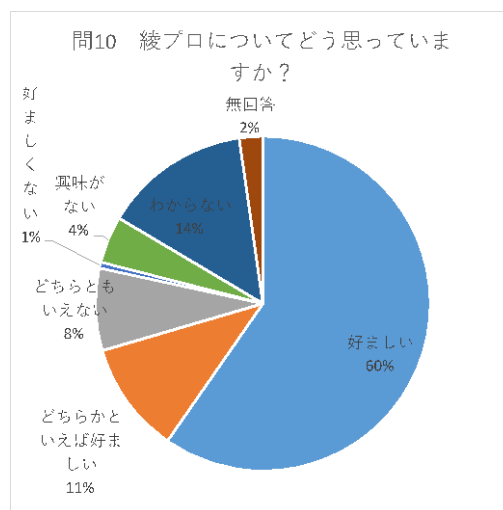
事業名	綾ユネスコエコパーク専門委員会、地域連携協議会への出席。綾町ユネスコエコパーク運営会議における実施計画策定支援(継続)	実施主体	NACS-J、綾町
項目-行動計画-実施項目	7-3-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	地域連携協議会、専門委員会へ出席し、国内外の情報を活用してよい方向に進むようアドバイスを行う。運営会議における生物多様性保全部会、調査教育部会の保全管理実施計画策定にあたり、アドバイスを行う。		

綾ユネスコエコパークについてのアンケート調査

このアンケート調査は、平成 24（2012）年に綾ユネスコエコパークに登録されてから 4 年経ったことをふまえ、関連する綾町の取り組みや社会状況の認知度、町民の意識の変化などを調査するために実施された。平成 35（2023）年には、綾ユネスコエコパークの定期報告を日本として初めて提出することになるが、その際にも、登録前と登録後で町民の意識がどのように変化したのか科学的に明らかにし、結果を報告する際の重要な指標になると考えられる。

- ・対象者：綾町の地域住民
- ・配布数：300 地区ごとに綾ユネスコエコパーク推進室が調整の上配布。
- ・調査期間：2016 年 3 月～4 月
- ・回収状況・有効回答：176
- ・回収率：58.7%

・綾プロについての質問では、現在の綾プロについては好ましいと答えた方が好ましいとどちらかといえば好ましいを含めて 7 割程度あった。発足当初は 5 割程度だったので好ましく思う町民は増えているといえた。



Biospärenreservat Rhön

UNESCO Rhön生物圏保存地域定期報告 2013

ドイツのレーン BR に関する定期報告書（2013）を翻訳した。

2023年には綾ユネスコエコパークは定期報告をユネスコに提出必要があるため参考資料として報告した。

8 項目：生物多様性の保全管理

事業名	綾生物多様性地域戦略 実践支援事業(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	8-1-④	連携先	NACS-J
事業概要 (目的)	綾生物多様性地域戦略の内容を実際に実施していくための綾町内での活動を委託する		

■綾プロエリア内林床植生調査

日本自然保護協会、林床調査ボランティア(てるはの森の会)、綾町ユネスコエコパーク推進室と連携し、綾プロエリア内で実施している林床植生の調査を継続して実施。過去の調査結果との比較から林床植生の組成の違いを明らかにした。

○国有林

・日 時 平成 28 年 11 月 25 日

・参加者 10 名(うち 2 名スタッフ)

○県有林

・日 時 平成 29 年 2 月 25 日

・参加者 12 名(うち 3 名スタッフ)





■生物多様性地域戦略実施支援

平成 26 年度に策定した生物多様性地域戦略の内容を実践するにあたり、日本自然保護協会から助言を受け、綾ユネスコエコパーク管理運営計画との整合性をはかる上で留意すべき点等についてとりまとめた。

■情報収集

国内外のユネスコエコパークや自然環境保全管理計画に関する情報を収集した。

平成28年度 綾の照葉樹林プロジェクト関連文献一覧

タイトル	発行者	発行年	事務局 / 執筆者	雑誌	種類	HP上での公開/非公開	公開しているHP名
照葉樹林だより第46号～48号	(一社) てるはの森の会	平成28年7月 ～29年3月	(一社) てるはの森の会		会報	公開	てるはの森の会
綾の照葉樹林プロジェクト平成27年度事業報告	綾の照葉樹林プロジェクト 連携会議	平成28年7月	(一社) てるはの森の会		事業報告	公開	てるはの森の会
綾の照葉樹林プロジェクト10周年寄付キャンペーン	綾の照葉樹林プロジェクト 連携会議(一社) てるはの森の 環境省	平成28年9月	(一社) てるはの森の会		パンフレット	公開	てるはの森の会
人と自然のふれあい調査	環境省	平成28年 12月・1月	取材：てるはの森の会	環境省広報誌エコジン「生物多様 性と私たちの2020年」p. 13	電子書籍	公開	環境省広報誌 エコジン
平成28年度 照葉樹林復元の動態モニタリング及び各種研究成果の整理等についで業務	九州森林管理局	平成29年3月	岩切環境技術株式会社		基礎調査	非公開	—
平成28年度 綾70における歴史等調査及び環境教育利用のための調査	九州森林管理局	平成29年3月	(一社) てるはの森の会		基礎調査	非公開	—
平成28年度 綾生物多様性地域戦略実施計画支援事業報告書	綾町	平成29年3月	(公財) 日本自然保護協会		事業報告	非公開	—



綾の照葉樹林 プロジェクト

発 行：平成 29 年 8 月

発行者：綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画 連携会議

編 集：一般社団法人てるはの森の会

お問い合わせ先：

〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島 2 丁目 9-6 みやざき NPO ハウス 403 号室

TEL:0985-35-7288 FAX:0985-35-7289 電子メール:teruha@miyazaki-catv.ne.jp

ホームページ: <http://teruhanomori.com>

※表紙写真はナラ枯れ予防剤を注入する様子（2016 年 4 月 11 日 川中イチイガシ）